

新シリーズ・第2弾

多摩境の内裏峠から

御殿峠古道下・相原まで

■日 時：2016年12月1日(木)

■集 合：京王相模原線「多摩境駅」改札前 地下広場10:00

■解 散：JR横浜線「相原駅」15:30頃

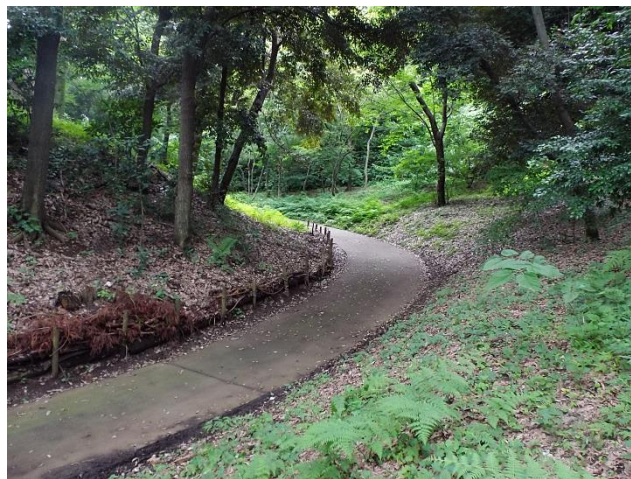
■参加費（資料代、保険料含む）：一般は1,000円/1人
団員700円（団員家族は2人で1,000円）

■申 込：事前申込不要。当日現地にて受付。

■その他：飲料、雨具等、各自ご持参ください。

雨天の場合は基本的には中止。
小雨の場合、実施することもあるので、当日の朝7時30分までに下記へお問合せ下さい。
(宮田)
090-7002-3431

【内容】かつては、戦車道路とも言われた尾根道を西に向かうと、絹の道や鮎街道とも合流します。鎌水峠の大塚山から下って来る「絹の道」は昔から鎌倉道とも言われ、境川に沿う鎌倉道とつながっていました。「橋本」の地名の由来となった旧橋本宿は、小田原道・川越道（国道16号の旧道）が境川を渡る部分の精進場や両国橋（武蔵国と相模国の境目）から南側に広がる古い集落です。今も直線的な古い町並の風情を遺しています。



多摩境内裏峠越え古代道



【コース】（都合により変更の場合有り）

京王相模原線「多摩境駅」改札口を出た地下広場に午前10時集合～尾根緑道（旧戦車道路）～古代甲州道の内裏峠越え跡～絹の道交差点～鮎街道（一部）～久保ヶ谷戸～昼食（橋本駅前の飲食店で自由）～橋本城（瑞光寺付近）と鎌倉道～稲荷橋～御殿峠古道下～相原駅。約6キロM。解散は午後3時半頃。